

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	特別支援学校玉城わかば学園
取組の名称	地域の産物を活用した献立の実施
実施時期	令和6年9月9日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐
取組内容	○目的：玉城町で栽培されている梨について知る。 感謝しながら味わって食べようとする意欲を育む。 ○対象者：全校児童生徒 ○内容：玉城町で栽培されている梨を、食べやすいようカットして給食に提供しました。また、生産者と連携して、梨が栽培されている様子の写真や生産者の思い等について資料を作成し、各学級へ配付しました。そして、児童生徒が生産者へお礼の手紙を書く活動を実施しました。 (左記は当日の給食写真 下記は児童生徒が記入したお礼の手紙)

八木農園さんへ

ほろが食べた梨より八木農園さんの梨がおいしいです。

毎日給食に出ています。

八木農園さんの梨を買って家で家族で食べたいと思います。

給食に出してくれてありがとうございます。

たくさん買って食べみたいです。

八木農園さんへ

9月9日おいしい梨を給食に出してくれてありがとうございます。半年でいっぱいになりました。

と思いましたが、このお礼もありがとうございます。

月曜日は、本当にかんしゃです。

こころからほんとうにありがとうございます。

その梨をくれた八木農園さんの人がいい梨をありがとうございます。

(高部2年1組より)

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園
取組の名称	焼き芋パーティー
実施時期	11月28日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐ 
取組内容	5月に苗付けを行い、11月初旬に収穫したさつま芋で焼き芋大会を行いました。当日は、さつま芋を子どもたちが一人ひとり濡らした新聞紙とアルミホイルで包み、ドラム缶へ投げ入れて、焼く様子を観察しました。焼き上がった焼き芋は、皆で試食しました。      

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立稲葉特別支援学校
取組の名称	みえ地物一番給食の日
実施時期	11月19日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べてよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産物を応援しよう ☐ 10 食・農の体験しよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☐ 12 食育を推進しよう
取組内容	6月同様、「みえ地物一番給食の日」では、生産者や食に関わる活動に対する理解や感謝を深め、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として、地場産物を使用した給食献立を実施しました。 また、その取り組みについて、食育だよりやホームページに掲載し、家庭への啓発を行いました。 【ご飯、牛乳、ちりめんチーズグラタン、野菜のあおさあえ、僧兵汁、平治煎餅】 

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立城山特別支援学校
取組の名称	地場産物を活用した給食の提供
実施時期	11月12日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☒  ☐ 
取組内容	・毎月「みえ地物一番給食の日」を設けて、三重県の地場産物や郷土料理を給食献立に取り組んでいます。11月の「みえ地物一番給食の日」の献立は、ご飯、豆腐の肉みそかけ、ひじきの炒め煮、みそ汁（玉ねぎ、小松菜、しめじ）を提供しました。給食物資でお世話になっている八百屋さんや学校給食会にお願いをして、三重県産の食材を多く納品していただきました。 

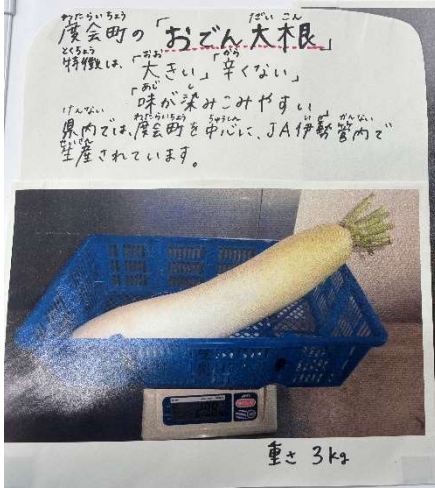
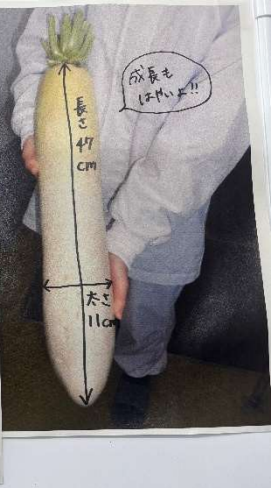
【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立南伊勢高等学校度会校舎
取組の名称	地域と連携した「お茶」の普及活動
実施時期	令和6年4月30日（火）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐
取組内容	【実施内容】 1 年生 13 名を対象に度会町茶業組合の協力ものと地元の小中学校と合同で茶摘み体験を行いました。初めての経験する生徒も多く、柔らかい新芽を手で丁寧に摘み袋に入れました。摘んだお茶は、製茶され後日学校に届けられました。 学校へ戻り、三重県茶業会議所のリーフレットをもとにお茶の淹れ方教室を行いました。お茶の種類や効能、抽出する温度について学習した後、一人ひとり急須でお茶を淹れました。その後、粉茶と薄力粉を混ぜ、お茶のマドレーヌを作りました。煎茶と粉茶は、生産者の方に分けていただきました。   【生徒の感想】 一芯二葉摘みを意識した。思ったより手間がかかり少ししか採れなくてびっくりした。お茶は、淹れる温度で味が全然違うことが分かりました。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立度会特別支援学校
取組の名称	度会町の「おでん大根」を食べよう
実施時期	12月6日、12月11日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☐ 9 産地を応援しよう ☒ 10 食・農の体験しよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☐ 12 食育を推進しよう
取組内容	【目的】 地元で栽培された食材を食べることで、地元の良さを知る。 【対象者】 全児童生徒 【実施内容・特徴】 度会町で栽培されたおでん大根を給食で提供しました。12月6日は「おでん大根のみそ汁」、11日は「揚げまぐろとおでん大根の煮物」で提供しました。 11日には、学校栄養職員がおでん大根のボードを持って食堂、各教室を巡回し、「おでん大根」について紹介しました。児童生徒はおでん大根の特徴を知り、「大きい!」と興味を示す様子もみられました。   重さ 3kg (ボード)

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立桑名高等学校定時制
取組の名称	食育
実施時期	10月8日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☒  ☐  ☐  ☒ 
取組内容	株式会社明治の食育セミナー「チョコレートの世界へようこそ」を利用。 ZOOMでのオンライン講義。 カカオの産地、カカオ農家が手間ひまかけてカカオ豆にする工程、産地から日本への運搬の手段と時間、カカオ豆からチョコレートが完成するまでの工程、チョコレートの歴史等を知り、今後のチョコレートの見方・味わい方が変わり、最終的にはあらゆる食材の産地から口に入るまでに思いを馳せることができる内容であった。 講師の質問にチャット機能で答える形式で、普段あまり発言しない生徒の回答が促された。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立くわな特別支援学校
取組の名称	中学部 うどん作り
実施時期	1 月（都合により 12 月から変更）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐ 
取組内容	中学部 2 年生を対象に、給食納入業者の製麺業者様を講師にお迎えし、一緒に手打ちうどん作りを行いました。 生徒は、栄養教諭と小麦粉について事前学習を行いました。 小麦粉から作られる食べ物を学習し、小麦粉は自分たちの食生活において身近であることを感じました。給食でも、いろいろな食べ物に小麦粉が入っていることに気付くことができました。その後、実際に小麦粉を触り感触を確かめ、水を加えて練ることで、感触の違いを感じました。 うどん作りの当日では、製麺業者の方に優しく教えていただきながら、班にわかれて、うどんを作りました。足で踏んだり、延ばしたり、力が必要な場面は皆で協力しながら作ることができました。 出来立てのうどんは、とてもおいしかったです。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立聾学校
取組の名称	給食試食会の開催
実施時期	7月10日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐ 
取組内容	【目的】 聾学校の給食を知る 【対象者】 幼稚部から高等部までの保護者のうち参加者 16 人 【実施内容】 当日の給食内容のプリントを配布し、給食室で給食を喫食しました。刻み食やアレルギー食を食べている保護者の参加もあり、質問に応じながらすすめました。 【感想など】 ○コロナ対応で、別室で開催していましたが、普段子どもたちが給食を食べている部屋で喫食することが出来て様子がよく分かり良かった。 ○給食特有のメニューを食べることが出来てよかった。 などの感想がありました。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園
取組の名称	おやつ正しい食べ方
実施時期	7月12日（金）3・4限目
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒ 
取組内容	高等部3年生 BC クラスを対象に、カルビー・スナックススクール様を講師としてお招きし、普段食べているおやつについての量や選ぶポイント、食べる時間帯や食べ物への興味関心を高め、自己の健康管理向上をねらいにして授業を実施しました。 内容は、4グループに分かれて、普段から食べ慣れているポテトチップスを教材として一日に食べていいおやつを目安量を皿に出して計量しながら確認したり、ゲームをしながら消費エネルギーについて考えたり、パッケージに記載されている内容などについて学びました。おやつを食べる注意点なども教えてもらいながら、「食べすぎたら次の日に調整したらいいんだ」「ごはんもきちんと食べないといけないな」と言いながら、講師のお話を楽しく聞くことができました。    

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立かがやき特別支援学校
取組の名称	病弱の児童生徒が取り組む「食育」
実施時期	12月5日(小学部5・6年生合同)
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒  ☐  ☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐ 
取組内容	◇本校は病院に併設された特別支援学校で食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、1型糖尿病、肥満、摂食障害、整形外科手術、内臓疾患などさまざまな理由で入院している児童生徒が在籍しており、児童生徒たちは病棟で管理された食事を摂っています。 学校で行う「食に関する指導」は、個々の児童生徒の病状に十分に配慮する必要があり、病状を考慮しながら実施しています。また、疾患によっては病棟で栄養指導など食にかかわる指導を受けることが、大切な治療である児童生徒もいます。 このような状況での、2学期の「家庭」での取り組みを紹介します。 「みんなで知ろう！食物アレルギー」（参加者 5年生2名、6年生3名） ・食物アレルギーが起きる仕組みや、原因となる主な食品等、基本的な知識について学習しました。また、友だちに食物アレルギーがある場合には、アレルギー症状を引き起こさないようにするための配慮についても考えることができました。 ・動画教材を視聴した後、登場人物が食べ残した料理を振り返りながら、理由について話し合いました。食物アレルギーは特定の食べ物を食べたり触れたりすることで症状が起こり、時には命の危険があることを伝え、驚く児童もいました。また、注意が必要とされている食品について、クイズを取り入れながら理解を深めていきました。食品クイズの正答率は高く、「聞いたことがあった。」「過去に家族が、その食品を食べてアレルギーが出たことがあった。」などの声がありました。 ・実際に食物アレルギーの治療で入院している児童が、自分自身の体験談や、取り組んでいる治療についてみんなの前で話をしてくれました。話を聞いて、友だちのもっているアレルギーを理解し、困っていることや気を付けることも知ることができました。 〈参考資料〉みんなで知ろう！食物アレルギー 食育の時間+

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立杉の子特別支援学校
取組の名称	地域の作物を使った給食の提供 とうもろこしの皮むき・すいか
実施時期	令和6年7月10日（水） 令和6年7月11日（木） 令和6年7月16日（火）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐ ☐
取組内容	【取組名】 とうもろこしの皮むき体験・すいかの提供 【実施日】 令和6年7月10日（水）11日（木）、7月16日（火） 【取組内容】 給食で使用するとうもろこしの皮むき体験を、本校の児童生徒が行いました。 とうもろこしは石薬師分校のある石薬師町で栽培されたとうもろこしを、地域の方から仕入れました。とうもろこしについての簡単な説明をした後、皮むき体験を行いました。とうもろこしを初めて見る児童生徒もいて、丁寧に皮むきをする様子が見られました。 また別日には石薬師分校のある石薬師町で栽培されたすいかを納品してもらい、給食で提供しました。 地元で栽培されたとうもろこしやすいかを給食で使用でき、地産地消につながる良い機会となりました。これからも給食を通して、地域とのつながりを続けていきたいと思っています。   

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	特別支援学校玉城わかば学園
取組の名称	地域の産物を活用した献立の実施
実施時期	令和6年9月9日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産物を応用しよう ☐ 10 食・農の体験しよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☐ 12 食育を推進しよう
取組内容	○目的：玉城町で栽培されている梨について知る。 感謝しながら味わって食べようとする意欲を育む。 ○対象者：全校児童生徒 ○内容：玉城町で栽培されている梨を、食べやすいようカットして給食に提供しました。また、生産者と連携して、梨が栽培されている様子の写真や生産者の思い等について資料を作成し、各学級へ配付しました。そして、児童生徒が生産者へお礼の手紙を書く活動を実施しました。 (左記は当日の給食写真 下記は児童生徒が記入したお礼の手紙)

八木農園さんへ

いつも食べている梨より八木農園さんの梨がおいしいです。

毎日給食に出してほしいです。

八木農園さんの梨を家で家族で食べたいと思います。

給食に出してくれてありがとうございます。

たくさん買、食べみたいです。

八木農園さんへ

9月9日おいしい梨を給食に出してくれてありがとうございます。半年でおいしい梨に感謝しています。

お礼の手紙を書きました。

月日曜日は、本当にかんしゃしています。

この梨をありがた八木農園さんの人にお礼の手紙を書きました。

(高3部2年1組より)

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	特別支援学校北勢きらら学園
取組の名称	非常食体験・食事量チェック
実施時期	7月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐ 
取組内容	・災害時の食事に慣れ、備えておくことを目的としました。 また、求められている体重に近づいているかの確認も目的としました。 ・対象者は本校の児童生徒と教職員です。 ・実施内容は非常食体験を一日設けて、持参してもらった非常食を児童生徒は食べてみることに、教職員は食べられるよう準備をして摂食介助することです。 給食では食形態に合わせて調理されているが、非常食は各自で行わなければいけないので普段から慣れておく必要があります。 また、こまめに体重の変動が起こる児童生徒に対して食事量が適切かの確認を行った。日々の記録している体重を確認して、担任と保護者の見解を聞き、ご飯を減らし、おかずを少し増やす等の対応をしています。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	県立盲学校
取組の名称	県立久居農林高校との学校間交流を通し、米作りの体験をしよう
実施時期	令和6年5月～令和7年1月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☐  ☒  ☐  ☐ 
取組内容	【目的】田植えと稲刈り、食品加工の体験活動を通して、交流校の生徒との触れ合いを大切にしながら、作物を育てることへの関心を高めます。また、自分たちで育てたお米を使って調理をし、美味しく食べることで食への感謝の心を育てます。 【対象者】小中学部児童生徒（7名） 【実施内容】久居農林高校・食品コース3年生との交流は今年度で7回目となります。5月下旬に予定していた田植えは残念ながら天候不良で中止となりました。9月17日の稲刈りは小学部の児童4名と中学部の生徒4名が参加し、お兄さんお姉さんに手引きをしてもらいながら体験することができました。そして1月には収穫した米を加工した米粉を使い、クッキー作りを行います。米粉を入れたクッキー生地を綿棒で伸ばし、型で抜いて、オーブンで焼く予定です。4か月ぶりに再会できることも楽しみにしています。   

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立伊勢工業高等学校
取組の名称	家庭科授業の中での食育の取り組み
実施時期	4月～1月 3年生 149名に実施
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒  ☒  ☒  ☒  ☒  ☒  ☐  ☐  ☒  ☐  ☒  ☐ 
取組内容	1 孤食や個食について説明し、コミュニケーションの場としての食事について考えます。そして食事が家庭において団らんのある場であるよう心がけることを伝えます。また、ワーキングランチの効果などについても説明します。 2 朝食を食べているか、何を食べたかをアンケートし、朝食の重要性や朝食欠食に関する問題について説明し、生徒自身の食生活の問題を考えます。その後、朝食給食の取り組みをしている地域の動画を視聴します。 3・4 青年期は生涯で最大の栄養素量が必要であることを説明し、食事バランスガイドの駒を使ってバランスの良い食生活を心がけるよう説明します。 5 タンパク質の補足効果の説明の際に、食べ合わせや、よくかんで食べることの効果を説明します。 6 調理実習の際に手洗いの重要性についてや、食中毒を防ぐために手にけがのある時はゴム手袋を着用するよう指導します。また手拭きは一人1枚用意します。 9 地元食材である「御糸米」を調理実習で使用します。地産地消やフードマイレージについても説明し、地元の食材を購入し応援することが食料自給率の上昇や自分自身の食の安全にもつながることを伝えます。 11 調理実習の際に和食の配膳方法について説明します。また日本料理の料理形式と献立について映像等も用いて説明します。